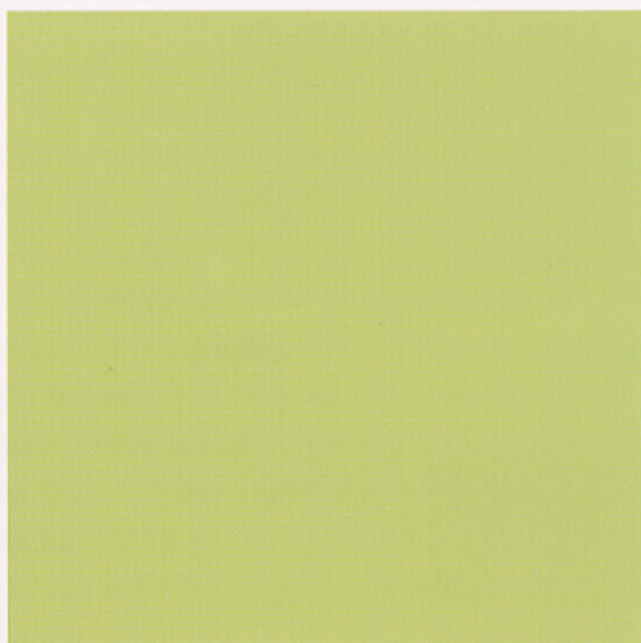


# Y O K O H A M A H I S T O R I C A L F O U N D A T I O N

財団法人 横浜市ふるさと歴史財団



## ごあいさつ

財団法人横浜市ふるさと歴史財団は、横浜に関連した歴史の理解に役立つ国内外の資料や文化財の収集・保管、調査・研究を行うとともに、その成果を活用し、児童・生徒や市民の求める「横浜の歴史」の学習意欲に応える展示、閲覧、出版等の普及啓発を行い市民と共有することで、市民文化の発展に寄与することを目的として、横浜市の出資により設立された財団法人です。

当財団はこの目的を達成するため、横浜市の指定管理者として、性格も主たる時代領域も異なる歴史施設5施設の管理運営を行うとともに、各施設を連携させ、また、市民との協働事業に取り組みなど、社会状況やニーズを反映させた運営に努めています。同時に横浜市の委託事業として、埋蔵文化財センターや史跡の管理運営を行っています。

当財団および当財団が管理運営する諸施設について、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 基本事項

名称	財団法人横浜市ふるさと歴史財団
所在地	横浜市都筑区中川中央1-18-1 横浜市歴史博物館内
設立	平成4年9月30日
基本財産	1億円

## 組織



## 沿革

---

当財団の設立は、横浜市の歴史編纂事業及び埋蔵文化財の発掘調査事業と密接に関連しています。

横浜市では、昭和29年(1954)に横浜開港百年を記念して「横浜市史編集事業(第1期)」が開始され、歴史資料や文化財の調査が活発に行われるようになりました。

第1期の「横浜市史編集事業」は、関東大震災の復興期(昭和初期)までで一区切りをつけましたが、蓄積された資料を公開する施設として、昭和56年(1981)に「横浜開港資料館」が開設され、その管理運営にあたる団体として「財団法人横浜開港資料普及協会」が設立されました。

一方、昭和45年(1970)には、港北ニュータウンの造成工事の本格化にともなって「港北ニュータウン埋蔵文化財調査団」が結成され、発掘調査が開始されました。また、この地域に残る民俗や古民家についての調査も行われ、調査の進展とともに考古資料館および歴史博物館設立の市民要望が強まり、その結果、両者を一体化し、「歴史博物館」の開館を目指すことになりました。

平成4年(1992)9月、「歴史博物館」の開設準備ならびに既設の「三殿台考古館」、「八聖殿郷土資料館」、「埋蔵文化財センター」(「港北ニュータウン埋蔵文化財調査団」改組)などを管理運営する団体として、当財団が発足しました。平成7年(1995)に「横浜市歴史博物館」が開館し、その後、平成10年(1998)には、前述の「横浜開港資料普及協会」と統合され、また、平成15年(2003)3月には、新たに開館した「横浜都市発展記念館」および「横浜ユーラシア文化館」の管理運営も受託することになりました。

平成15年の地方自治法の改正に伴い指定管理者制度が導入され、「横浜市歴史博物館」「横浜開港資料館」「横浜都市発展記念館」「横浜ユーラシア文化館」「横浜市三殿台考古館」の5施設もその対象となりましたが、平成18年度からは、当財団が指定管理者として管理することになりました。

平成19年度からは、さらに、横浜市史資料保存活用業務を受託し、現在に至っています。

# I 指定管理施設の 管理・運営

平成18年度より、指定管理者として5つの歴史施設を相互の連携を図りながら管理・運営しています。

## 横浜市歴史博物館 MAP ①

都筑区中川中央1-18-1

横浜市歴史博物館は、原始から開港期までを中心とする2万年の市域の歴史を扱う博物館として平成7年(1995)1月に開館しました。その運営にあたっては、「横浜に生きた人々の生活の歴史」を基本理念とし、それに則した調査研究、わかりやすい展示、身近な情報の提供、楽しく役に立つ講座、市民参加の体験学習などを実施しています。

また、隣接地には、弥生時代の環濠集落と墓地が一体的に発見され、集落の全体像が明らかな貴重な遺跡として国史跡に指定された「大塚・歳勝土遺跡」があります。この遺跡を「遺跡公園」として復元整備し、博物館の野外施設として館内の展示などと連携した活用を進めています。



## 横浜開港資料館 MAP ②

中区日本大通3

横浜開港資料館は、横浜開港百年を記念して実施された「横浜市史編集事業」の資料を基礎に、昭和56年(1981)6月2日の開港記念日に開館しました。この地は安政元年(1854)の日米和親条約締結の地であり、また、旧館は旧イギリス総領事館(横浜市指定文化財)です。

19世紀半ばの開港期から関東大震災にいたる時期を中心とした資料を収集・保管、整理し、調査研究を行い、その成果を常設展や企画展で紹介するとともに、閲覧室で公開しています。

横浜開港資料館は資料を通じて横浜の歩みを次の世代に伝える「近代都市横浜の記憶装置」としての役割を果たしている施設です。



## 横浜都市発展記念館 MAP①

中区日本大通12

横浜都市発展記念館は、現在の横浜市の骨格が形成された昭和戦前期を中心に、「都市形成」「市民の暮らし」「ヨコハマ文化」の三つの側面から、都市横浜のあゆみを展示する施設として、旧横浜市外電話局（横浜市認定歴史的建造物）の建物を保存・活用し、平成15年（2003）3月15日に開館しました。横浜の都市形成に関する資料の収集・整理、調査研究を基礎として、企画展示、出版、講座などの普及事業を行っています。



## 横浜ユーラシア文化館 MAP①

中区日本大通12

横浜ユーラシア文化館は、東洋学者江上波夫氏から横浜市に寄贈された資料を核に、ヨーロッパとアジアを合わせたユーラシア地域の歴史、考古、美術、民族資料、及び関連文献を多数所蔵しています。

これらの資料を中心に、ユーラシア諸地域の民族や文化の交流に関する調査研究を行い、その成果を広く市民に公開することにより、国際都市横浜の発展に寄与する施設として、平成15年（2003）3月15日に開館しました。企画展示、出版、講座・講演会、コンサートなどの普及事業を行っています。



## 横浜市三殿台考古館 MAP①

磯子区岡村4-11-22

縄文・弥生・古墳の三時代にわたる貴重な集落跡として、昭和41年（1966）4月に国の史跡に指定された三殿台遺跡に隣接して建てられており、昭和42年（1967）1月31日より一般公開されています。展示解説、体験学習などの普及事業を実施しています。



## II 受託施設の 管理・運営

横浜市の委託事業として、埋蔵文化財センター、横浜市八聖殿郷土資料館の管理・運営と、国指定史跡称名寺境内、県指定史跡稲荷前古墳群、県指定史跡市ヶ尾横穴古墳群、上行寺東遺跡復元整備地の維持管理をしています。

### 埋蔵文化財センター MAP⑥

栄区野七里2-3-1

埋蔵文化財に関する調査・研究と整理事業を専門とする機関であり、発掘調査報告書の刊行や調査成果の公開、展示、講座、体験学習など、埋蔵文化財に関係する普及啓発活動を行い、埋蔵文化財の保護と継承の重要性について市民の理解を深め、地域文化の振興に貢献しています。



### 横浜市八聖殿郷土資料館 MAP⑦

中区本牧元町76-1

市民に郷土の歴史を伝える資料館として昭和48年（1973）に開館いたしました。幕末から明治にかけての本牧、根岸の写真や、市内で使われていた農具や漁具を中心に展示し、自然の恵みとともにあった先人たちの暮らしを紹介しています。



## 国指定史跡 称名寺境内 MAP⑧

金沢区金沢町212

称名寺は、金沢北条氏の菩提寺で、北条実時が六浦荘金沢の居館内に営んだ持仏堂から発したといわれています。庭園は、鎌倉時代の寺院の代表的な庭園で、仏教の浄土曼陀羅を庭園に移した構成と解釈され、浄土式庭園と呼ばれています。庭園史上高い価値のあるものとして、大正11年(1922)、さらに昭和47年(1972)には周辺区域も含め、国指定史跡とされました。昭和53年から62年にかけて、全面的整備が行われ、鎌倉時代の浄土式庭園が復元されています。



## 県指定史跡 稲荷前古墳群 MAP⑨

青葉区大場町156-10ほか

昭和45年(1970)に神奈川県史跡に指定された古墳群で、現在、3基の古墳を保存・公開しています。4世紀後半から7世紀にかけて造営されたもので、この地域の首長とそれにつらなる人々の墓地と考えられています。



## 県指定史跡 市ヶ尾横穴古墳群 MAP⑩

青葉区市ヶ尾町1639-2 市ヶ尾遺跡公園内

昭和32年(1957)に神奈川県史跡に指定され、保存・公開されています。横穴墓は、丘陵の傾斜面を掘り込んで作られた古墳時代の埋葬方法のひとつで、市ヶ尾横穴古墳群は、6世紀後半から7世紀後半にかけて造られたもので、この地域の有力者の墓と考えられています。



## 上行寺東遺跡復元整備地 MAP⑪

金沢区六浦2-4196ほか

上行寺東遺跡では、13~15世紀につくられた41基の「やぐら」と呼ばれる横穴式の墳墓と7棟の建物跡などが発見されました。中世六浦の信仰を考えるうえで貴重な遺跡として、昭和62年(1987)、遺跡の一部が復元・保存され、公開されています。



# ACCESS MAP

アクセスマップ

## ⑨ 稲荷前古墳群

- 〒 青葉区大場町156-10ほか
- 交通：市営・東急バス  
「水道局青葉営業所前」下車
- 入場料：無料
- 駐車場：あり

## ⑩ 市ヶ尾横穴古墳群

- 〒 青葉区市ヶ尾町1639-2 市ヶ尾遺跡公園内
- 交通：東急田園都市線「市ヶ尾」駅下車
- 入場料：無料
- 駐車場：なし



## ① 横浜市歴史博物館

- 〒 224-0003 都筑区中川中央1-18-1
- TEL 912-7777 FAX 912-7781
- 交通：市営地下鉄「センター北」駅下車
- 観覧料：一般400円、高校生・大学生200円  
小学生・中学生100円
- 駐車場：1時間200円



## ② 横浜開港資料館

- 〒 231-0021 中区日本大通3
- TEL 201-2100 FAX 201-2102
- 交通：JR・市営地下鉄「関内」駅下車、  
みなとみらい線  
「日本大通り」駅下車
- 入館料：一般200円、  
小学生・中学生100円
- 駐車場：なし

## ③ 横浜都市発展記念館

## ④ 横浜ユーラシア文化館

- 〒 231-0021 中区日本大通12
- TEL 663-2424 FAX 663-2453
- 交通：JR・市営地下鉄「関内」駅下車、  
みなとみらい線  
「日本大通り」駅下車
- 観覧料：一般200円、  
小学生・中学生100円  
(セット料金あり)
- 駐車場：なし



## ⑦ 横浜市八聖殿郷土資料館

- 〒 231-0822 中区本牧元町76-1
- TEL 622-2624 FAX 622-2657
- 交通：市営バス「本牧市民公園前」  
または「本牧車庫」下車
- 入場料：無料
- 駐車場：なし



## YOKOHAMA CITY



## ⑧ 称名寺境内

- 〒 236-0015 金沢区金沢町212
- 交通：京浜急行  
「金沢文庫」駅下車
- 入場料：無料
- 駐車場：なし

## ⑪ 上行寺東遺跡復元整備地

- 〒 金沢区六浦2-4196ほか
- 交通：京浜急行  
「金沢八景」駅下車
- 入場料：無料
- 駐車場：なし



## ⑤ 横浜市三殿台考古館

- 〒 235-0021 磯子区岡村4-11-22
- TEL 761-4571 FAX 761-4603
- 交通：市営地下鉄「岡田」駅下車
- 観覧料：無料
- 駐車場：あり(大型バス不可)



## ⑥ 埋蔵文化財センター

- 〒 247-0024 栄区野七里2-3-1
- TEL 890-1155 FAX 891-1551
- 交通：JR「港南台」から  
バス「上郷ネオポリス」下車
- 入場料：無料 駐車場：あり

